

いっぱんしつもん

定住自立圏への政権交代の影響

無党派 新井重一郎

問 ①1市4町への財政支援の削減は。②それに伴う周辺4町との協定内容の変更は。③この構想に賛同する民間企業への財政支援の影響は。④このまま続けるのか。

答 ①地方財政措置で行われるので影響は少ない。②変更はしない。③予算が5分の1に減額された。④賛同する3つの医療機関の続行予定。

●環境に対する秩父市の取り組み

問 ①「秩父市土砂等のたい積の規制に関する条例」によって汚染土壌の持ち込みを阻止できるか。②レジ袋の有料化、または辞退者へのキャッシュバック条例の検討は。③太陽光発電パネル設置への補助は。④バイオオマス発電による削減量をクレジットとして販売する考えは。

答 ①本条例は平成19年に全面改正し、たい積土の汚染調査を義務付け、汚染が判明した場合には土砂の撤去を定め罰則等を強化して市民生活の安全を確保。②事業者の裁量に委ね条例制定は考えない。③既に住宅リフォーム資金助成で

実施、今年度からは新築住宅へ拡大。④グリーン電力証書、環境省のオフセットクレジットを検討中。

●「理科おもしろ実験教室」の現状と将来の発展

問 東京理科大学の教員と大学院生の協力により今年も「理科おもしろ実験教室」を開催し、大好評であった。これを年1回ではなく、数回行いたいと思うが。

答 回数を増やすつもりはない。



理科おもしろ実験教室

◎①平成23年度からの水道料金値上げについて ②秩父夜祭を週末に行うことによる経済効果

行財政改革の推進について

市民クラブ 新井兄三郎

問 秩父市の財政状況はどうか。答 財政の健全化判断比率でみると早期健全化基準を大きく下回っており健全であると考えている。

問 市町村市民税を中心にして市税が2億円を超えるマイナスとなっており、また平成22年度の税収も本年度予算と比較して3億円以上減少する見込みである。

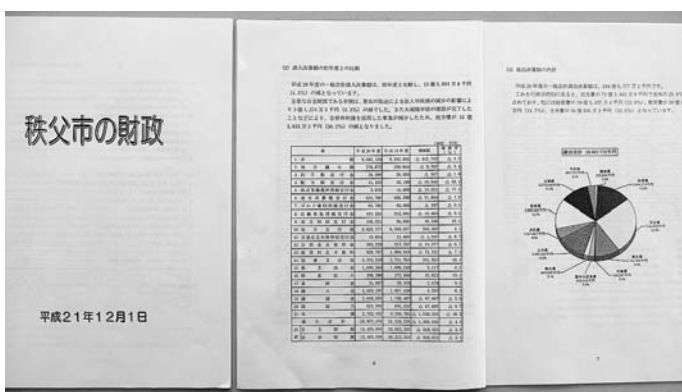
問 市の対策はどうか。

答 経常収支比率を80%以内にするため、チャレンジ80プランを引続き推進してゆきたい。また事務的経費の削減のため、職員一人一人がコスト意識をもって対応し、民間委託できる業務を把握して民間活力の導入も検討してゆきたい。

問 合併特例債を活用し、懸案の秩父斎場の改築ができるかと数億円の節約ができると思うが、財政難の折からどう考えてゆくか。

答 秩父斎場については、広域市町村組合の事業であり、現在基本計画を作り地元と接渉中であり具体的に決まっていらないが、約16億円強の規模で建設計画をしているとのことである。秩父斎場の事業を広域市町村圏組合から秩父市に

移管し、合併特例債を活用して建設するには埼玉県知事の許可が必要となるうえ、将来の管理責任などの問題もある。しかし、合併特例債を活用して建設すると、5億円以上の負担減となるので埼玉県と協議し、また広域市町村圏組合の構成町とも協議しながら秩父市の負担軽減を検討していく。



秩父市の財政

いっぱんしつもん

太平洋セメント(旧秩父セメント)

プラント、跡地利用について

市民クラブ 須田 博

問 旧秩父セメント跡地を利用して、老朽化が進み、耐震性も低い市民会館、芸能会館等の建設について。

答 庁内に部長級職員を中心とした検討委員会を組織し事務レベルでの検討を始めた。合併特例債を利用した市民会館、芸能会館などの機能も有する施設として「ふるさと学習センター」の建設を検討委員会にて検討している。

●花、緑、芸術、自然をテーマにした年間集客対策について

問 秩父の自然を生かした、花、緑等を通じて、四季を通じた集客対策について。

答 秩父市では、春の芝桜をはじめ、花やホタル、紅葉、冬のイルミネーション、水柱など最新の情報を観光ホームページを通じて発信している。

●森林と水を守る施策について

問 森林環境税の取組みについて。
答 「全国森林環境税創設促進議員連盟」に加入し、森林環境税の



太平洋セメントプラント跡地

創設に向けて、積極的に国へ働きかけていく。

●スポーツの振興と施設の整備

問 スポーツ施設の整備について。
答 「秩父市営スポーツ施設整備5か年計画」を策定し、随時施設の整備をし、スポーツに取り組める環境づくりを推進する。

市民クラブ政策提言

吉田地区について

市民クラブ 小櫃 市郎

問 秩父(吉田間)のトンネル(仮称・蒔田トンネル)開設の推進。

答 全議員の賛同をいただき、埼玉県にも意見書を提出し、早期の事業実施を要望する。

問 一本杉峠新設事業の推進。

答 期成同盟会を通じて、小鹿野町と協議する。

問 和田、芦田団地を結ぶ通学路及び排水路整備。

答 安心、安全な通学路の整備、歩道の整備を推進する。

問 高崎神流秩父線、石間下吉田線、下日野沢東門平吉田線の改良促進について。

答 県土整備事務所に協力を要望する。また吉田阿熊地内については、2車線でお願したい旨の要望書を秩父市長、皆野町長の連名で提出した。

問 藤芝、頼母沢水道の公営化。

答 良質な飲料水を提供することは、「市の責務」ともいえるべき事柄であるので、水道部と吉田総合支所の連携の下に実施し、公営水道が整備されている地域と同様の状態の実現を担保していきたい。
問 吉田小学校体育館及びプールの改修について。



吉田小学校体育館

問 体育館は、耐震補強を含む、大規模改造工事を実施したい。プールについては、当面は補修工事を行いながら使用したい。
問 改善センター及び集落センターの補修について。
答 洋式トイレも含め、老朽化の度合、町会の状況を調査検討する。
問 龍勢まつりについて。
答 今後も同様に支援する。

いっぱんしつもん

平成22年度市民クラブ政策提言

大滝荒川地区について

市民クラブ 浅海 忠

問 大中橋の車道橋新設は。今後財源の確保等研究したい。

答 荒川幹線道路の改良は。

問 2号線は、未改良区間の概略設計が完了した。今後地権者に説明し推進したい。3号線は、地権者の理解が得られず引き続き交渉していく。4号線は、1工区として三峰口駅から707mの詳細設計を発注した。来年度、2工区790mまで詳細設計と1工区の物件調査・用地測量を予定している。順調に進めば平成23年度から整備したい。6号線は70mの測量業務を発注。

問 大滝地区水道の改良は。

答 大血川地区・三峰地区を計画的に改良していく。

問 上田野排水路の改良は。

答 今年度、国道横断まで改良予定。来年度残り区間の整備を予定。問 路線バス及び地区内交通手段の確保と維持。

答 定期路線バスを維持し利用者のニーズに応じた運行と住民の生活の足を確保したい。お出かけ楽々バス「久那線」を再編して荒川上田野「花見の里」まで延伸した。12月16日より運行を開始。

問 そばの里づくり充実（機械設備の代替え）。

答 今年度、コンバイン1台を購入した。必要なのでそば生産組合と調整し、国・県等の補助を活用し、更新したい。

問 滝沢サイクルパークBMX場の活用は。

答 秩父BMX協会や地元と協議し全日本の大会等を開催し、世界大会等の大きな大会も積極的に誘致していきたい。



BMXコース

◎二瀬ダム周辺道路整備は ◎上田野98、99号線の改良は

バイオマス発電の再開について

市民クラブ 荒船 功

問 バイオマス発電の再開にあたり「補助金等を活用して運転を再開して、平成24年度には民間事業者等による管理運用または民間移譲を目指す」と説明された。

答 政権が民主党に移行して、日本の温室効果ガスの排出量を2020年までに25%削減を発表し世界の注目を集めた。埼玉県も25%の削減目標を掲げている。

問 したがって、バイオマス発電の民間移譲を目指す消極的な考えではなく、今までの運転実績をふまえて、国・県との連携を進めながら、既存の委員会の再開あるいは研究者を選任して専門委員会を設置し「オフセット・クレジット制度」（森林による二酸化炭素の吸収量を企業に売却する制度）の研究、発電した電気の買取価格の引上げ等検討を進めてはどうか。

答 温暖化対策、輸入依存のエネルギー等の課題からも、循環型社会、低炭素社会への取組みはますます重要となる。バイオマスを取り巻く諸制度の充実はこれからで、秩父市はバイオマス発電導入の先進市として、バイオマス等の再生可能エネルギーの高値買取制度

充実、維持管理費への支援なども国へ要望していく。ご指摘いただいたバイオマスエネルギーの委員会の活用は、今後バイオマスタウン構想の専門委員会として協力依頼していきたい。



旧大滝村の神領民家

◎神領民家裁判のその後 ◎大野原町内開発計画と交通対策

いっぱんしつもん

育成会等の廃品回収について

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

問 廃品回収の現状はどうか。

答 資源の大切さを子どもたちに学ばせるとともに、回収量に応じた報奨金を団体活動費の一部に当てる等のため、廃品回収を積極的に進めていただいている。昨年度の状況は45団体が年間延べ144回実施しており、回収量も約1千4百50トンに及んでいる。

問 回収時の事故に対する保険は、

答 育成会においては、埼玉県子ども育成連絡協議会が所管する保険に加入している。車が関係する事故については、各家庭から集積場まで、自動車の道路上での使用があり、かなり大きな事故になることも予想される。道路交通法上、自動車保険が支給になつてくるのではないかと考えるので、所有者への賠償責任等が生じるのではないかと思う。そういった点等、もっと詳しく検討し、研究しなければならぬと思うので詳しい方に相談しながら研究をしていきたいと考えている。

問 子育ての若い人たちがボランティア精神で取り組んでいる廃品回収であり、事故が起きた場合は車の所有者責任となるのでは安

心して参加できない。中村町育成会でも大変盛んに行われているが、事故に対応する何らかの保険を検討して欲しい。

答 確かに事故があつた場合は大変なことである。その保障に関しては、今後、十分検討していきたい。良い提案をもらったと思う。



12月13日の中村町育成会廃品回収

国民健康保険税について

日本共産党秩父市議団 新井康一

問 市町村合併推進のため、総務省や各説明会で必ず「サービスは高い方へ、負担は低い方へ合わせるのが合併の一般的やり方」という説明をしていたが、あれは合併をすすめるために住民にウソをついてきたのかとの声がある。

答 合併協定で5年以内に調整をすることにはなつていたが、高い秩父市に合わせることはなつていない。結果は、一部を除いて全部高ぞろえである。深刻な不況で失業者が増え、失業給付も切れた人が社会保険から国保にかわつてきている。税率は前年の所得に対してかけられる。最悪のタイミングでの増税であるが、一般会計からの繰入を増やして高ぞろえではなく、もっと低い税率で平均化することは考えられなかったのか。

問 合併については旧各市町村議会の議決を経て正式な手続きを経てきた。不均一課税の統一については急激な負担増を配慮し、5年の経過措置を設けた。

答 税率を下げての平準化については、医療費が年々増加している中で財政事情も考慮し、まずは税率の統一をすることが必要と考える。

● 聖地公園に共同納骨堂を

問 兄弟や身寄りもなく、子どももない単身老人が、墓地やお墓を作っても、自分が死んだ後、お墓を守ってくれる人がいない。そういう人が入れるところを聖地公園にでも造ってもらえればありがたいとの声がある。

答 聖地公園には類似の施設「聖霊殿」があり、現在の規定ではすぐに利用はできないが、利用者等の意向も聞きながら、有効に利用していきたいと考える。



聖地公園内にある「聖霊殿」

◎人間ドックと特定健康審査